

# 和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話 (0997) 52-6311 FAX (0997) 53-6230

平成30年9月1日  
(2018)

第110号

|                     |       |
|---------------------|-------|
| ■表紙                 | 1     |
| ■寛仁親王妃信子殿下お成り       | 2～3   |
| ■バスレクリエーション         | 4     |
| ■第4回ミニ運動会           | 5     |
| ■第26回奄美和光園夏祭り       | 6     |
| ■奄美まつり(花火大会)(舟こぎ大会) | 7～8   |
| ■八月踊り(節踊り)          | 9     |
| ■ハンセン病を正しく理解する週間    | 9     |
| ■七夕会・ふれあい和光塾        | 10～11 |

|                                              |       |
|----------------------------------------------|-------|
| ■親子療養所訪問                                     | 11    |
| ■「ふれあい看護体験」を受けて                              | 12    |
| ■福祉体験学習                                      | 13    |
| ■新人紹介                                        | 14    |
| ■認知症高齢者看護エキスパートナース研修                         | 15    |
| ■平成30年度 第1回 消防訓練                             | 15～16 |
| ■看護協会長表彰を受賞して                                | 17    |
| ■やったぞ！初めての準優勝！！                              | 17    |
| ■NST News Letter                             | 18～19 |
| ■平成30年度診療統計                                  | 19    |
| ■人事異動・和光園日誌・皮膚科外来の予約が<br>始まりました・今後の行事予定・編集後記 | 20    |

## 基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



アランガチの滝

## 基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療  
さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

## 寛仁親王妃信子殿下のお成りについて

5月8日、庶務から「宮内庁からお電話です。」とのこと、宮内庁から何事だろうと受話器を取ったところ、寛仁親王妃信子殿下が5月24日当園にお成りになりたいご希望とのお話でした。早速園長に報告し、是非よろしく願いますとご返事するようにとのご指示があり、改めて宮内庁にその旨にご返事いたしました。

それから、幹部4役で、妃殿下と入所者がふれあっていただけるか、喜んで参加してもらえるかとの視点で、①妃殿下と入所者の方々との交流会をもちたいということ。②場所は入所者の方が集いやすい「あすなろ」ホール、③妃殿下から入所者お一人おひとりにお声掛け頂けるように、ということで、たたき台を作成、検討して園内での行程(案)を作成しました。併せて、宮内庁、警察の方と調整を経て園内での行程が決定されました。

当日は、梅雨の時季でもあり、雨が心配されましたが、晴天で迎えることができました。入所者自治会の山田相談役にも園玄関でのお出迎え、「あすなろ」ホールでのお礼の挨拶に臨んでいただきました。

多目的ホールでの園長の概況説明の折り、寛仁親王妃殿下が当園でピアノコンサートを開いて頂いたことの説明の段では、妃殿下は感慨深くされておられました。

納骨堂に献花して頂いた後、「あすなろ」ホールでの交流会となりました。「あすなろ」ホールには「いも一れ寛仁親王妃信子殿下」と島言葉を交えた歓迎の横幕を掲げて入所者、職員でお出迎えいたしました。園長から改めて妃殿下をご紹介の後、妃殿下から入所者のみなさまへお言葉を頂戴いたしました。

その後、妃殿下におかれましては、入所者お一人おひとりの手を握り、お声掛け頂きました。入所者自治会の山田相談役からのお礼の挨拶がありました。ここでお開きの予定でしたが、妃殿下は、出席者全員との記念撮影まで臨んでいただき、最後は出席した入所者・職員でお礼を込めて拍手でお見送りいたしました。妃殿下が帰られた後もこの出会いを入所者の皆様が本当に感激、喜んでいらっしゃいました。

妃殿下からお見舞いのお菓子も頂きました。後日入所者の皆様へお配りいたしました。最後になりますが、二週間という短時間の準備期間の中、作業、準備等に携わって頂いた職員の皆様に感謝申し上げます。

事務長 横山 嘉雄





# 寛仁親王妃信子殿下お成り

去る5月24日(木) 16時、奄美和光園に寛仁親王妃信子殿下がお成りになりました。あすなろホールで入所者が一同に集まって、殿下にお一人おひとりに笑顔で温かい言葉をなげかけていただきました。

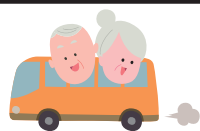
ご公務でのご多忙の折にかかわらず、ご丁寧なご対応に深く感謝するしだいでございます。

今後暑い日が続いてまいります  
が、ますますご壮健であられます  
こと、入所者代表として心よりお  
祈り申し上げます。

入所者相談係 山田 祥







## バスレクリエーション



今年はいつになく毎週のように台風が発生し、あらゆる行事の開催が危ぶまれる中、7月19日木曜日に恒例のバスレクリエーションが行われました。

日頃の行いが良いせいか(^ ^)、天候にも恵まれ、過ごしやすい風もそよ吹き、気持ちの良い青空の下、一般舎1名・不自由者棟3名・職員8名の合計12名で大浜海浜公園へ行ってきました。

ワクワクしながらにぎやかに和光園を出発すると、楽しいせいか、あっという間に大浜に到着！2、3人でテーブルをセッティングしている間に、バスを降りた面々は、まずは海洋展示館へ。そこでソフトクリームを販売しているのを発見したKさんは早速購入！美味しそうに食べているのを見た他のみんなも買って、全員ソフトクリームを食べることにしました。すると、みんなに合わせてKさんは2個目のソフトクリームGET！海の風を受けながらみんなで頬張るソフトクリームは格別に美味しく感じました。

英気を養ったところで、海洋展示館前から小浜までお散歩に出発！途中道の細いところや坂道もありましたが、そこは職員の本領発揮で乗り切り、小浜のキャンプ場まで行きました。キャンプ場から見える景色はまた一味違い、プライベートビーチに来たかのような贅沢な心地になりました。シーグラス等を拾ったり、バナナの木を眺めたり。職員の携帯アプリを使っの記念撮影では、みんながかわいいウサギちゃんに

変身するため、大盛況の大賑わいでした。

キャンプ場から海洋展示館へ戻る道からは、海水浴を楽しむ家族連れも多く見られ、水着の若者と声を掛け合う姿もありました♥

楽しみにしていたお弁当の時間には、今回も手作り豚足などの差し入れがあり、お腹も心も満腹になったところで帰路につくことになりました。

バスに乗り込むと、大和村までドライブをしようか…となりましたが、雨が降ってきたため、知名瀬トンネルから引き返し、商店街に新しくできた大通りを通って帰ってきました。

帰りのバスの中では、職員の配慮で、ウサギちゃんに変身した記念撮影写真がプレゼントされ、笑顔あふれるバスレクも無事終了。

皆で過ごした一日はとても楽しい時間でした！

福祉室 福祉係 平 正 美







## 第4回

## 三二運動会



第4回三二運動会が、6月28日(木曜日)午前11時よりあすなろホールで開催されました。

入所者と職員が一緒に笑い、喜び、楽しみを感じて頂けるようにと、医療サービス向上委員会・看護サービス委員で計画させて頂きました。

加納園長の開会の挨拶の後、保育園児の選手宣誓「ぼくたちは、たおれても、なきません」のかわいい言葉で幕開けしました。園児の競技は、アンパンマン体操、パン食い競争、宝釣りでした。アンパンマン体操は、入所者から「かわいい」の言葉が飛び交い、パン食い競争は、必死にパンをくわえる園児の姿に会場一杯の笑顔と拍手が沸きあがりました。園児表彰式では豊田総看護師長より園児一人ひとりへ、サービス委員手作りのアンパンマンメダルが授与されました。

昼食は、「ご飯ですよ」のプラカードが走り回り、笑い、と、拍手喝采、でした。食事前の体操は、入所の掛け声に合わせて職員も一緒に行い、準備万端。みんなと一緒に食べるお弁当は、美味しかった！！最高でした！！

午後の部は、不自由者棟入所者と職員の応援団は、朝野団長を中心に応援合戦が始まり、急遽、豊田総看護師長も加わり大いに盛り上がり開幕となりました。

午後からの競技種目は、宝釣りゲーム、飴食い競争、二人で一緒に競技でした。

一番に盛り上がる飴食い競争は、粉で真っ白になった顔に大きな笑い声の歓声が送られました。実習生の奄美看護福祉専門学校看護学科の生徒、先生も参加となり入所者から「ガンバレ」のエールのかけ声がかかり、先生、学生さん快く参加して頂きあ

りがとうございました。

各賞については、サービス委員長（山本師長）より「参加できました賞」「頑張りました賞」などの発表があり、横山事務長より一人ひとりへ景品授与がありました。

最後に和光園歌を全員で合唱、その後、輪になり“島のブルース”の曲に合わせて踊りがあり、馬場副園長の閉会の挨拶で幕を閉じました。挨拶の中に「福祉専門学校で以前講義をすることがあり、講義の中で、勉強も遊びも一生懸命に、と話をしました。今日はその通りできましたね」と、学生さんへねぎらいの言葉がありました。

運動会が終わり、入所者より「楽しかった」「保育園の子供達がかっこよかった」「みんなと食べるお弁当は美味しかった」と言葉を頂きました。でも最高の思い出は、何よりも入所者の笑顔で、素敵でした。

入所者、保育園児、職員と一緒に過ごせた時間は何にも代えがたい、とても楽しいひと時になったと思います。

今後も行事などに企画参加して精一杯取り組んでいきたいと思っています。

サービス委員

今里 百合子  
重 香代子  
元久 明子





## 第26回 奄美和光園夏祭り



7月26日(木)に第26回奄美和光園夏祭りが、恵まれた好天の下開催されました。

加納園長の挨拶から始まり、来賓代表の奄美市長（副市長代読）から挨拶を戴きました。

その後余興の部に入り大いに盛り上がりました。

私は、今年度転勤してきたばかりで初めて参加させてもらいました。夜店の綿菓子の担当となり、はじめての綿菓子作りに悪戦苦闘し、挨拶をゆっくり聞く時間もありませんでした。ふと、横を見ると焼きそばや焼き鳥には長い行列ができる程、夜店は盛況でした。

副園長をはじめ有志9名で、余興にも参加させてもらいました。福祉室長が郷ひろみに扮し、「2億4千万の瞳」「お化けのロック」を歌う後ろで、右左半分白黒の服を着て、合いの手を入れ、その後、錯覚ダンスで「おばけのバケちゃま」の踊るものでした。副園長と司会との軽妙なやり取りもあり、何とか無事に余興を終わる事ができ

ました。

余興から帰ってみると、まだ時間はあるのに、綿菓子は材料が無くなり終了しており、他の夜店も売り切れ続出でした。盛況ぶりに驚いてしまいました。

時間があつたので、阿波踊り奄美連の「阿波踊り」や「すいかの早食い」などの余興を見る事ができました。会場は盛り上がり、皆、楽しい時間が過ごせた様です。余興の最後は「島のブルース」「六調」で全員輪になって踊り、大いに盛り上がり、横山事務長の閉会挨拶で夏祭りは終了しました。

また来年、皆で夏祭りの楽しい時間が過ごせる様、入所者の皆さんは体をくれぐれもご自愛ください。お忙しい中、夏祭りに参加して下さいたご来賓の方々、近隣の方々、ありがとうございました。最後に暑い中、夏祭りの準備に奔走して頂いた職員の皆様に感謝致します。

薬剤科長 楠原 哲也





## 奄美まつり(花火大会)

今年は天候に左右されることなく、8月3日(金)に第55回奄美まつり花火大会が開催されました。

今回も入所者5名の方が参加することができ、行きのバスの中では懐メロのカラオケを皆で歌って会場へ向かいました。花火が上がるまでは、和やかに談笑され過ごしていました。そしてお待ちかねの花火が上がると「ワー！」と歓声や拍手が沸き上がりました。入所者も職員も花火に夢中になり、三千発の花火が夏夜を

照らしていました。

また新港に停泊中の定期船と花火の光のコラボレーションが今も目に焼き付いています。夏の夜空を彩る花火も終わりが残惜しさのある中、皆様無事に家路に着されました。

今年も楽しい時間を過ごすことができ、良い思い出になりました。

治療棟 介護員 柴 美津子



## 傷跡残った!! 結果は残った!? 大波乱の舟こぎ大会のすべて!!

平成30年8月4日、奄美市名瀬の佐大熊地区で開催された第55回奄美まつり舟こぎ競争。今大会は、一般の部に142チーム、女子・子どもの部に48チームがエントリー。真夏の青空のもと白熱のレースが展開され、大盛況の大会となりました。

そんな中、我が奄美和光園は、過去の輝かしい歴史を引き継ぐべく、男子2チーム、女子2チームを結成し、約1ヶ月間にわたり、福崎昭徳監督、川崎岳史キャプテンのもと、精鋭集団で本番に臨むはずだったのです。

が、ここで事件が起こってしまいました。

前年度まで、福崎監督とともに舵を担当していた「最近リーゼントしてないよね？」でお馴染みのA先輩が、「ワンは、もう年だから、漕ぎきらんど」という傍若無人な理由で戦線離脱。その代理として福崎監督

から「ヤーはできる子だから大丈夫」という、ありがたいご指名(先輩命令)を受け、ワタクシが舵を取るようになったのでした。

島唄の一節にあるかどうか定かではありませんが、「舟や舵して(舟は舵取り次第)」という言葉の通り、舟こぎの勝敗は舵取りにかかっております。若輩者のワタクシには荷が重すぎる大役であります。しかし諸先輩方にご迷惑はかけられません。そんなこんなで、ワタクシめ、若干の胃痛に悩まされながら、血のにじむような厳しい(和気あいあいとした)特訓に参加するのです。

そんなある日、いつものように厳しい(和気あいあいとした)特訓が始まり、私は男子チームの舵取りをしていました。しかしながら、その日に限って、思うよ

うに舟が進まず舵取りのワタクシめも気前つくわ出しまいになったのです。

そこで、力の限り、ヤホ(櫂)を水面に突っ込んだ次の瞬間・・・「バキッ!!」という嫌な音とともに左脇腹に激痛が走りました。おもわず「アガッ!!」と声が出てしまいました。ワタクシめ、激痛に耐えながら騙し騙し舵を取り、なんとか岸に戻りました。

それから1週間。安静にすれば治るだろうと回復に努めていたのですが、あまりにも痛みが引かないので整形外科を受診したら「折れてますね♪全治2週間ですよ♪」と、アッサリと診断結果が通告され、ワタクシの舟こぎ大会は、ここで終焉を迎えることになったのでした。

さあ、そんなこんなで、使えない代役が本当に使えなくなったことにより、戦線離脱するはずだったA先輩がチームに復帰することとなりました。

久しぶりに舵を取るA先輩。もう自分がやるしかないという並々なめ覚悟を決め、厳しい(和気あいあいとした)特訓に参加します。

そして、気合い十分で、舟をこぎ始めた時のことでした。

「バキッ」と、どこかで聞いたことのある音とともに、「アガッ!!」というどこかで聞いたことのある声があがり、どこかで見たことのある「左脇腹をおさえて痛みで顔がゆがむ」表情をした人がいました。A先輩でした。

なんとA先輩も、左脇腹を痛めてしまったのです。

こうなると、あと舵をとれるのは福崎監督だけです。

福崎監督は、試合当日4チームの舵を取りまいという、あまりにも大きすぎるプレッシャーで、メシがのどを通らない日々を過ごしたとか、過ごさなかったとか。

そんな満身創痍の状態で迎えた舟こぎ大会当日。4チーム中1チームが、準々決勝に進出するという奇跡が起きるのですが、その奇跡を呼び寄せたのは、チームの汗と涙と筋肉痛の成果であることは疑いようがありません。

というわけで、今年の舟こぎ大会は思うような成果が残せませんでした。その原因は、舵取りであるワタクシとA先輩の負傷であることは明らかです。

では、なぜ、舵取りの2人が、同じ場所を負傷してしまったのでしょうか?いろいろと分析した結果、一つの結論が導き出されました。

それが「今年は結団式(飲み会)をやらんかってんがー」ということでした。

結団式さえやっとけば、厄払いもできて負傷者も出なかったのです。これがすべての元凶です。そうだそうだ、そうに違いない。そういうことにしよう。ワイドワイド。

・・・というわけで、来年こそは、しっかりと結団式をして本番に臨み、輝かしい結果を残したいと思います。

というわけで「川崎キャプテン、サバクリ、よろしくお願いします」と業務連絡を交えつつ、舟こぎ大会のご報告に返させていただきます。

福祉室 医療社会事業専門員 保 裕之







8月18日17時、浴衣姿の団体がバスの中からぞくぞくと降り立ち、不自由者棟玄関前に輪になって整列しました。輪の中心にいる青年団の一人がハンドスピーカーで掛け声の合図を行うと、太鼓（チジン）、三味線に合わせて一斉に反時計回りに歩きながら踊りが始まりました。入所者の方の中には、輪に入っていっしょに踊って楽しむ方、また側で見学して雰囲気味わう方様々でした。

盛り上がりが高潮に達して踊りを一時中断した後、青年団の一人が寄付を行った方の名前と金額を大声で読み上げました。

すると寄付へのお礼として盛大な拍手がわき起こり、それに合わせて太鼓がドンドンと鳴り響きました。

八月踊りは節踊りとも呼ばれ、旧暦の八月までに前年の収穫に感謝し新たな年を迎えるという意味が込められているようです。踊り方は各集落(しま)ごとに少しずつ異なっており、奄美地方の伝統文化の奥深さが感じとれます。

この機会において伝統行事の貴重な体験を得られましたこと有屋町内会の皆様に感謝申し上げます。

福祉室長 磯部 武嗣



## ハンセン病を正しく理解する週間

奄美市役所、奄美市立図書館において「ハンセン病を正しく理解する週間」（6月17日～6月23日）の期間中にパネル展示の企画がありました。

パネルには現在の和光園の年間行事写真、自治会の声を掲載させていただきました。

より多くの地域住民の方にハンセン病の歴史と奄美和光園の存在を知っていただく上でも良い機会と考えております。

今後ともハンセン病についての正しいご理解をよろしくお願いしたいと思います。



福祉室長 磯部 武嗣

## 七夕会★



8月14日(火)～8月23日(木)の期間中、各部署想いのこもった七夕の笹飾りが中央廊下に飾られ、8月16日(木)には恒例の笹飾り品評会も開催されました。

各部署例年に比べ飾りがレベルアップしており、毎年違った表情を見せてくれる七夕飾りには感動を覚えました。投票や見学に来られた入所者からも「どれも綺麗で投票悩むやー」などの声が聞かれ、職員との会話中も笑顔であふれていました。給食よりプレゼントとして用意していただいたゼリーも色とりどりで、上に乗っている飾りのゼリーも星型やハート型などとても可愛かったです。

そして皆様が悩むに悩んだ投票の結果は、【金賞：ゆらいの郷】、【銀賞：治



療棟】、【銅賞：福祉室】となりました！！

各部署の皆様のご協力、そして投票や見学にお越しいただいた入所者の皆様、誠にありがとうございました。また来年も笑顔でお会いしましょう☆彡

看護サービス委員 治療棟 岩元 由衣

## ふれあい和光塾



平成30年 5月26日、春風が薫る暖かい日差しの中、ふれあい和光塾が開講されました。

開講式の冒頭で、奄美市教育委員会生涯学習課長より「今回は新規の方でもすぐ農作業に取り掛かれるよう農業研修センター職員が事前に、耕運機、トラクターで畑の土をならしています。土にふれあいながら和光園入所者と交流を深めて下さい。」と

の挨拶がありました。

次に加納園長より「入所者にとって農園が若かりし労働の場所、収穫の場所(喜びの場所)、生活の一部となっている。高齢化とともに入所者数が減少していく中で、地域の方に有効活用してほしいと自治会が申し入れから始まったと聞いている。和光園は地域の方と常に近いところで仕事をしていくことを目指している。かなり早い時期から地域の溶け込んできた療養所としての特徴がある。」と和光園の歴史について詳細に話していただきました。

今年は節目の第15期目にあたり、継続13組、新規11組の計24組の方がふれあい和光塾に参加され、自然とふれあいながら楽しそうに農作業に励んでおられ



ました。

農作業体験を通じて収穫の実りをご享受いただき、さらに和光園の歴史にもいっそ

う興味を抱いてくれれば幸いです。

福祉室長 磯部 武嗣



## 親子療養所訪問

8月9日、親子療養所訪問が鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課主催のもと、あすなろホールで開催されました。

今年は、5世帯12名が参加され、一般舎等の施設見学、納骨堂での献花が終了した後、交流会が始まりました。

開会の挨拶では、加納園長より「高齢化とともに入所者の話を聞けるのが最終局面である。我々の話は伝聞であるが、入所者の話は実体験に基づいており大変貴重である。入所者の受けた被害は人生そのものを取り上げられたことに等しい。」と切実な事実についての話がありました。

その後、入所者2名が各テーブルについて自身の体験や今感じている思いを語っていただきながら参加者との交流を徐々に深

めていきました。

本日の親子療養所訪問での体験を加えることで、よりいっそうハンセン病に対する理解が、それぞれ参加者の皆様にとって深まっていけば、一職員としてこの上ない喜びと存じ上げます。

福祉室長 磯部 武嗣







## 「ふれあい看護体験」を受けて

平成30年7月31日、ふれあい看護体験で県立大島高校の2・3年生6名（女子3名、男子3名）が参加されました。

ふれあい看護体験の目的は「看護の日」制定記念事業の一つとして、学生さんや一般の方に実際の看護の場を体験していただき、患者さんとのふれあいを通して看護する事や人の命についての理解と関心を深めてもらう機会とするものです。

体験前に白衣に着替え初めてナースキャップをつけ学生さん達は笑顔いっぱいでもうれしそうでした。病棟、ゆらいの郷に分かれ体験していただきました。血圧測定をお互いに体験し、入居者の方とのコミュニケーションなどを体験していただきました。学生さん達とのふれあいを通して、入居者の方は笑顔が多く見られ楽しそうに話されており普段の思いを沢山語っておられました。

学生さんの体験後の感想から「貴重な体験ができ、勉強になった」「看護師になり

たい気持ちが高まった」「人と関わる仕事につきたい」という言葉がきかれました。実際の看護の場を体験し入居者の方とのふれあいを通して看護する事についての関心を深め、又、進路に影響する体験になりました。学生さんの真っ直ぐな眼差しと笑顔に、私自身も初心にかえる貴重な時間になりました。

病棟看護師 川畑 正子







# 福祉体験学習



平成30年7月4日と5日の2日間、奄美市立朝日中学生5名が福祉体験学習に参加されました。

午前中の体験学習では、理学療法士が入所者へのリハビリ実施している姿を真剣に観察しながら、その合間に入所者と会話を楽しむという内容でした。

午後からは、バスに入所者といっしょに乗り合わせてショッピングに参加し、買い物カートや車いすを押したりして積極的にお手伝いをされました。

ショッピングを終えて帰園してからは、入所者、職員が不自由者棟の食堂ホールに集って、生徒達が企画した伝言ゲームを行いました。伝言ゲームでは最後に伝わった言葉が、全然お題目と違っていることがわ

かると、入所者、職員と共に笑って大いに盛り上がりました。

短いスケジュールではありましたが、入所者との交流を通じた体験学習により、高齢者への思いやりの心の育成にお役に立てればと思っております。

福祉室長 磯部 武嗣



去る平成30年7月4日と5日の2日間、奄美市立朝日中学校3年生5名が福祉体験学習に来られました。福祉体験の目的は、入所者との交流を通して、『思いやりの心を育てる・高齢者の方々に敬意を払い尊敬の念を持って接する姿勢を学ぶ』とのことでした。

1日目は、病棟と不自由者棟に分かれ、居室の清掃やリハビリ見学、食事の準備・配膳など生活援助や全盲・難聴体験、車椅子介助体験を行いました。中には、食器洗いや家事をしたことがあまりない、高齢者との生活経験がない、そんな生徒さんもありましたが一生懸命取り組んでいました。ふれあいを通して生徒さんから

は、「何か介助するときには、説明をすることで安心できることがわかった」「お年寄りのみなさんがご飯をいっぱい食べ、リハビリを頑張っている姿に驚いた」「自分の祖母を大事にしたい」など言葉が聞かれ、一つひとつの援助の中に配慮や尊敬、思いやりを持って接することが大切であると学ぶ事ができ良い体験学習となったと思います。

2日目は、ショッピングに同行し、一緒に商品を選んだり荷物を持ってもらったり大活躍でした。最後には、島唄披露や伝言ゲームなどのレクリエーションをして頂き楽しい時間を一緒に過ごすことができました。

将来、国際看護師や医療関係に就きたいと考えている生徒さんもいて夢の実現に近づく貴重な体験になったと思います。

入所者の皆様には、生徒さんを笑顔で出迎え優しい励ましの言葉をかけて下さり、感謝申し上げます。

不自由者棟 看護師 篠原 夕姫



# 新人紹介



不自由者棟 看護師 巴 誉子 (ともえ もとこ)

この度、平成30年5月1日付で入職いたしました。ゆらいの郷で勤務させていただいております。熊本市出身で、奄美へ転居しもうすぐ8年になります。

自然が好きで、海・登山（奄美では行ったことはありませんが…）川遊び、子供と一緒に昆虫生育（最近カブトムシの幼虫が成虫になりました！）に励んでいます。自然豊かな和光園で、毎日癒されています。

まだまだ不慣れでご迷惑をおかけしていますが、少しでも入所者の皆様のお力になればと思っています。入所者の皆様、職員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

医療社会事業専門員 保 裕之 (たもつ ひろゆき)

H30年5月1日付で、医療社会事業専門員として採用されました、保 裕之と申します。

根瀬部出身で長浜町在住です。山羊座でO型で戌年です。2児の父です。妻は1人います。猫を1匹飼ってます。愛車は緑のジムニーです。時々シーカヤックをします。タバコ吸います。お酒は黒糖焼酎をこよなく愛しています。メタボ予備軍と注意されますがノープロBLEMです。

入所者様のために、先輩方のご指導をいただきながら、一生懸命頑張ります。どうぞ、よろしくお願いします。



庶務課 共済係 石野 春奈 (いしの はるな)

7月1日より働かせて頂くことになりました石野と申します。

小3、小1の息子と毎日ドタバタ育児しております。奄美市和光町出身です。

慣れ親しんだ町で歴史ある和光園で働かせていただく事を本当に嬉しく思います。

至らない点ばかりで皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思います。その時は構わずご指導の程よろしくお願い致します。

藤島さん、寺田さんを引継ぎ、短い間になるとは思いますが和光園に関わる皆様と過ごせる日々を大切に過ごしたいと思っています。よろしくお願い致します。



## 認知症高齢者看護エキスパートナース研修

この度、7月2日から7月6日の5日間、独立行政法人国立病院機構菊池病院において開催された認知症高齢者看護エキスパートナース研修を受講しました。

今回の研修は、認知症高齢者看護における看護の質の向上をはかるため、専門的知識・技術を統合し看護実践の役割モデルになれる看護師を育成することを目的とし、認知症の基礎知識、看護、意思決定支援などの講義に加え、認知症病棟での実習、事例検討会ととても内容の深いものでした。

事例検討会では、研修生の提出した事例をもとに患者・家族への関わり方や、事例から見えてくる倫理的課題、意思決定支援についてグループで話し合いました。認知症高齢者のケアの原則はすべての患者に伝えることであり看護の基本である、認知症高齢者の拒否をどのように受け止め、どのような関わり方をすれば本人の思いを理解することに繋がるのかなど意見が出されと

ても学びの多いものでした。そして講師の先生の言われた「認知症、それもその人の人生の一部である」という言葉が心に響きました。

今回の研修を通して、認知症になっても持てる力を活かし生きていく力に着目すること（ストレングスの視点）、あきらめから希望へのリフレーミング（認知症を抱えてもできることがあるという視点）、その人らしくあり続けるための諦めない支援がとても大切であると実感しました。

認知症高齢者の方は記憶が失われていくことへの不安と恐怖の中にいます。そのことを忘れずにしっかりと向き合い、その人の思いに近づく努力と観察力と想像力を磨いていきたいと思います。

病棟 看護師 牧原 悦子

## 平成30年度 第1回 消防訓練

去る7月12日に今年度第1回目の消防訓練を行いました。設定は、昼間、出火元はゆらいの郷（不自由者棟）の湯沸室としました。

事前打ち合わせを行ったのですが、いつも思うことは…。事前打ち合わせは必要とは思いますが、脚本・台本並の打ち合わせ（シナリオ）もいかながなものかと。壮大な劇を演じる感じになってしまいそうで。

そして当日午後1時過ぎに管轄の消防署員3名が来園。設定の再確認を行う中で、去年のハプニングのことが話に出ました。去年は病棟が出火元だったのですが、その際通報には消防設備の電話を使用してくださいとのことで、訓練時にその電話で通報を行おうとしたところ、事務所にある子機

にはつながらず慌てた経緯があります。今回は事前に通報確認しましたが、やはり子機には繋がらず、普段使用のPHSでの通報としました。（当直室にある親機には繋がる。）

さて時間となり、訓練開始です。ここからは事前打ち合わせのとおり（台本どおり？）に進んでいきました。発見・通報・消火・避難・救護…、そして報告。

昨年同様、参加者の動きも機敏で特に問題もなく終了しました。これは、打ち合わせの効果もありますが、毎年行っている訓練の成果と思われます。消防署員による講評でも、高評価な言葉をもらいました。

その後は、新人をメインにして消火器

による消火訓練を行いました。消火作業訓練に当たった職員も、「火事だ！！」の声もしっかりと出ていました。そして次は、屋外消火栓による消火作業です。ホースを出し、伸ばす作業、消火栓を解放する作業、放水作業と流れを確認しながら行いました。消火栓の放水圧に負けないよう足を踏ん張り目標物に向かい、しっかり放水しました。

いつ何時、出火発見、通報者、消火作業に出くわすかわかりません。台本どおりとはいえ、経験して体に覚え込ませることが、被害を最小限に抑えることに繋がると思い

ます。（細かなシナリオは重要です！）そしてなにより、火を出さない意識も常に持ち続けたいと思います。

庶務班長 堀口 広文





## 看護協会長表彰を受賞して

平成30年5月26日、鹿児島県看護協会通常総会が鹿児島県市町村自治会館で開催されました。プログラムの中で鹿児島県看護協会長表彰式が執り行われました。会員総数（平成30年4月1日現在）10,344名の中から受賞者数30名、大島地区からは2名の受賞でした。

今年3月に看護課より受賞への推薦のお話を伺い、「えー私が」と驚きや戸惑いを感じましたが、今年60歳で看護職の定年を迎える節目でもあり、とても有り難い思いが沸き上がりました。身に余る光栄、快く受賞を受けさせて頂きたいと感じました。

ほぼ満席の会場の中、名前をよばれた時、あまり賞を受けることがなかった私は、このような機会を与えて下さった方々へ感謝の気持ちで一杯になりました。この受賞を

励みにこれまでの看護経験を、今後も身近な方たちへ貢献できたらと考えています。ありがとうございました。

不自由者棟 看護師 押川 春美



## やったぞ！初めての準優勝！！

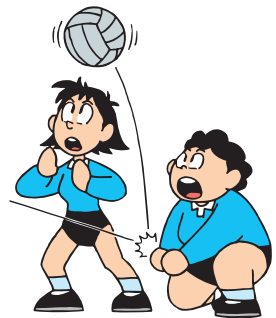
皆様こんにちは！

今回3月17日に行われた上方(かみほう)体協バレーボール大会に「和光園」チームとして参加しました。約2週間という短い練習期間ではありましたが7チーム出場する中、見事準優勝という結果をおさめる事ができました。上は60代から下は20代まで幅広い年齢層にも関わらず、怪我人も出る事なく、とても楽しく12名でバレーをする事ができました。

これも入所者からの激励のお言葉・職場

や家族の協力があったからこそ実現できた事だと思い、とても感謝しています。これからも、このチームワークを大切に職場でも活かして行けたらと思っています。

治療棟 介護員  
岩元 由衣



## 嚥下機能に影響を及ぼす薬剤

嚥下障害とは口、食道の機能が低下し、水分や食べ物をうまく飲み込めなくなる事を言います。食べ物などが気管に入る事を誤嚥と言い、肺炎の原因となることがあります。誤嚥により、肺に細菌が入り炎症が起きた状態を誤嚥性肺炎と言います。また、嚥下障害により食べる量が減ると低栄養、水を飲む量が減ると脱水になります。

嚥下障害の原因は、腫瘍などによる食道等の構造的要因、加齢などによる嚥下機能の低下や服用薬の影響などいろいろ考えられますが、ここでは嚥下と薬の関係について述べます。

まず摂食・嚥下の過程を示します。(図2)

図1 口や喉の構造

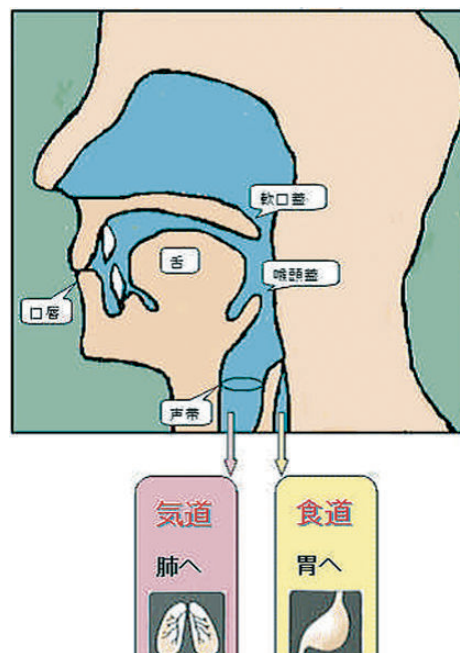
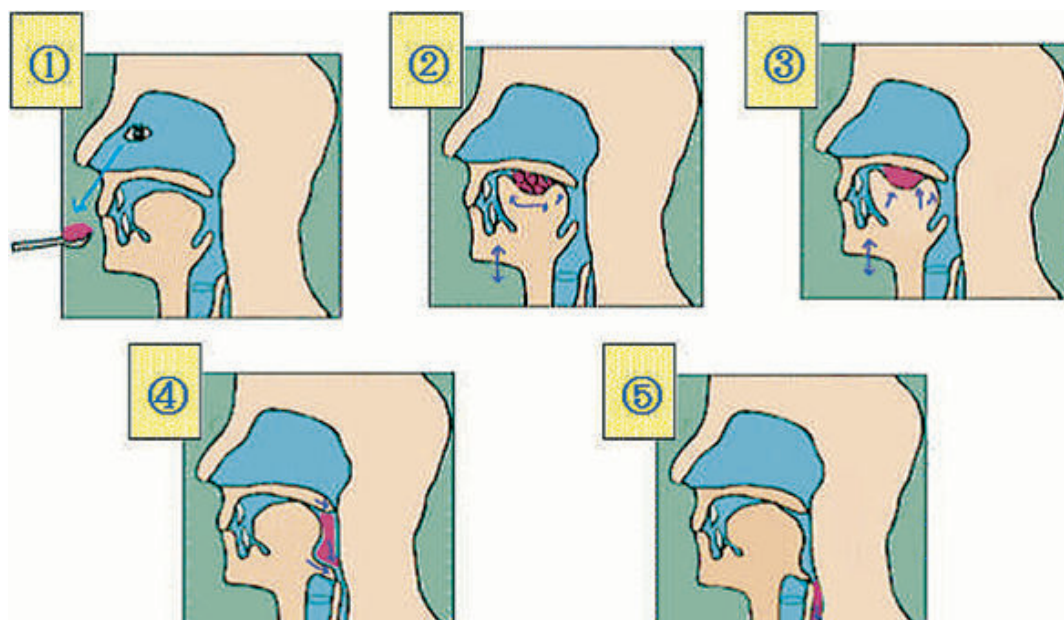


図2 摂食・嚥下の過程



- ①先行期：食べ物をどのくらい、どのように食べるかを判断する時期（認知期）
- ②準備期：食べ物を口に取り込み、噛んで、唾液と混ぜて飲み込めるように食塊を作る時期（捕食・咀嚼期）
- ③口腔期：噛んだ食べ物を舌を使って口の奥に送り込む時期
- ④咽頭期：食べ物をのどから食道へ飲み込む時期（むせずに飲み込む）
- ⑤食道期：飲み込んだ食べ物が食道を通過して胃へ入る時期



どの段階が障害されても嚥下障害をきたしますが、特に準備期、口腔期、咽頭期の障害は誤嚥につながりやすくなります。

次に嚥下機能障害の原因をお話します。嚥下機能障害の原因として次のことが考えられます。

- (1) 嚥下反射（食べ物が口から入ってから飲み込むまでの反応）が鈍くなる
- (2) 咳反射（誤って気道に入った際、咳で出す反応）が鈍くなる
- (3) 唾液の減少で口の中が乾燥することで食べ物を飲み込みやすい形にできない
- (4) 胃食道逆流（食後に食べた物が逆流してくる）

これらの原因に対して嚥下機能障害を改善する作用があるとして、次のような薬剤が有効とされています。

血圧の薬の種類の中には、副作用（空咳）があるものがあり、誤嚥性肺炎には有効とされています。嚥下反射、咳反射を強くし増加させる薬、血液をさらさらにする薬、漢方薬の薬のなかにも、嚥下機能改善作用がある薬があります。また、口の中の乾燥に効く薬として、口腔乾燥症の薬、人工唾

液の薬、漢方薬などがあります。さらに胃食道逆流に対しては、消化管運動を促進して誤嚥性肺炎のリスクを下げるために、胃潰瘍等の治療薬や、消化管蠕動運動促進薬が有効とされています。逆に副作用として、嚥下機能に悪影響を与える薬や、口内炎や味覚異常により嚥下機能障害をおこす薬もあります。

いろいろな種類の薬がありますが、薬は毎日元気で過ごせる為に欠かせない物だと昔からの云われがあります。薬は病気を治して元気に過ごす為の大事な物です。しっかり処方された飲み方で、朝、昼、晩、寝る前、食前薬、食間薬、食後薬、薬の飲み忘れが無いように、そして正しい姿勢で飲み込むことで誤嚥を防止しましょう。

いつまでも大好きな食事が美味しく食べられるように、お薬の事で聞きたいことがありましたらお尋ね下さい。

薬剤科 田原 直行

## 平成30年度 診療統計

|    | 外来診療  |       |       |         |          | 再掲       |          | 入院診療  |       |         |
|----|-------|-------|-------|---------|----------|----------|----------|-------|-------|---------|
|    | 初診(人) | 再診(人) | 合計(人) | 1日平均(人) | 診療実日数(日) | 紫外線療法(件) | 手術/生検(件) | 入院(人) | 退院(人) | 延患者数(人) |
| 5月 | 234   | 309   | 543   | 45.3    | 12       | 78       | 10       | 0     | 0     | 0       |
| 6月 | 235   | 305   | 540   | 41.5    | 13       | 81       | 6        | 0     | 0     | 0       |
| 7月 | 264   | 293   | 557   | 42.8    | 13       | 83       | 4        | 0     | 0     | 0       |
| 8月 | 190   | 293   | 483   | 37.2    | 13       | 72       | 4        | 0     | 0     | 0       |

- ・8月から完全予約制となり、7月までと比較して8月の患者数は減少している。
- ・入院制度開始当初と比べ、軽症のうちに受診する患者が増え、入院治療を必要とする患者が少ない。これは当園の皮膚科が広く認知され、受診しやすい病院となっている良い傾向である。

## 人事異動

(平成30年5月1日～平成30年8月31日)

|            |       |           |          |
|------------|-------|-----------|----------|
| H30. 5. 1  | 保 裕之  | 医療社会事業専門員 | 採用       |
|            | 巴 誉子  | 看護師(臨)    | 採用       |
| H30. 6. 30 | 山崎 弓美 | 看護師       | 辞職       |
|            | 巴 誉子  | 看護師(臨)    | 辞職       |
|            | 寺田 志織 | 共済係(非常勤)  | 辞職       |
| H30. 7. 1  | 俵 あい  | 看護師       | 育児休業より復職 |
|            | 巴 誉子  | 看護師       | 採用       |
|            | 石野 春奈 | 共済係(非常勤)  | 採用       |

## 和光園日誌

(平成30年5月1日～平成30年8月31日)

|            |                                              |
|------------|----------------------------------------------|
| H30. 5. 24 | 寛仁親王妃信子殿下 お成り                                |
| 5. 26      | ふれあい和光塾 開講式                                  |
| 6. 27      | 施設見学(面縄小学校)                                  |
| 6. 28      | 園内ミニ運動会                                      |
| 7. 10      | 厚生労働省医政局医療経営支援課<br>国立ハンセン病療養所管理室 室長及び室長補佐 来園 |
| 7. 12      | 消防訓練                                         |
| 7. 19      | 園外レクリエーション(大浜海浜公園)                           |
| 7. 26      | 第26回奄美和光園夏祭り                                 |
| 7. 31      | ふれあい看護体験                                     |
| 8. 3       | 第55回奄美まつり 花火大会見物                             |
| 8. 4       | 第55回奄美まつり 舟こぎ競技4チーム参加                        |
| 8. 9       | 親子療養所訪問                                      |
| 8. 16      | 七夕会                                          |
| 8. 18      | 有屋町内会 八月踊り                                   |

## ～皮膚科外来の予約が始まりました～

平成30年8月より予約制が始まりました。

予約受付時間：月～金(祝日、年末年始を除く) 9:00～11:00  
13:00～17:00

予約専用電話：0997-52-6324

## 今後の行事予定

9月13日 敬老会 / 10月13日 ゲートボール大会 / 11月15日 慰霊祭

編

集

後

記

『平成』最後の夏!! 記録的猛暑の夏!! たくさんの思い出はできましたか。

私は、今年初めて奄美まつりの舟こぎ大会に和光園女子チームとして参加させて頂きました。結果は予選通過の準決勝進出となり、夏の良い思い出ができました。普段の運動不足もあり、数日間には全身筋肉痛…、それもまた良い思い出です^^;

9月に入りました。みなさんも夏の疲れを残さないように美味しいものを食べて乗り切りましょう。

編集委員 藤田 加穂子